

「男の料理」も生きがいに 自らの手料理にご満悦

新たな趣味や生きがいづくりを目的とした「男の料理教室」が8月8日、中央公民館調理室で開かれました。約10名の参加者が挑戦したのは、ひやむぎ・麻婆ナス・きゅうりの浅漬けと夏らしい3品。普段料理をしない方も主催した町食生活改善推進協議会の方から野菜の切り方などを学んでいました。自らが作った料理を食べると「意外とイケる！美味しい！」と満足そうに話していました。



▲中には慣れた手つきで野菜を炒める参加者も

カネカ蔵カフェで弾き語りライブ 静かな夏の夜に癒しを

築120年のカネカ蔵カフェを会場に8月2日、オランダ人シンガーソングライターのルーン・スタールさんのピアノ弾き語りライブが開催されました。しっとりした選曲で約60名の来場者を魅了。女性客のひとり「娘の結婚式で流した曲を演奏された時は、涙が止まらなかった」と感無量の様子でした。開演前には庭でビュッフェ形式の食事を楽しみ、来場者は静かな癒しの夏夜を過ごしました。



▲休憩時にはサインや記念撮影を求める人が押し寄せた

▼夏を感じる絵はがきを制作。自信作を持ってパシャリ！



ぼすとでパステル画教室を初開催 子どもたちは作品づくりに没頭

夏休み真っ只中の7月31日、交流サロンぼすとでパステル画教室が開かれました。森の子ども図書館の皆さんが企画し、講師として佐藤洋美さん（下野明）をお迎え。参加した児童らは、ひまわりやイルカなど夏らしい作品づくりに熱中していました。講師の佐藤さんは「パステル画は指を使って描くのが特徴の癒しのアート。みんなコツを掴むのが早く、とても上手だ」と話していました。

▼金山校は生徒会のメンバーら3名が代表して発表した



小国町で小規模校サミット 新庄南高金山校が活動をアピール

生徒の少ない高校が全国から集まり、課題や取り組みを話し合う全国小規模校サミットが7月31日、昨年に続き小国高校で開かれました。全国から18校、約160名が参加する中、新庄南高金山校の生徒らは、町内外で実践しているボランティア活動や町行政と連携して行っている模擬議会などの事例を発表。小規模の金山校だからこそできる大きな取り組みをアピールする良い機会となりました。



1_指揮者小沼翔さんと1番員小沼睦さん。火点に狙いを定める 2_緊張感漂う「操法開始」 3_2番員小沼雅登さんと3番員三上翼さんは息ぴったり 4_第7分団第1部の皆さんで

みすぎ荘納涼会でめごたま園児と交流 スイカやアイスを食べる夏を満喫

7月30日、みすぎ荘納涼会が開かれ、認定こども園めごたま年長児と利用者の皆さんが交流されました。毎年恒例の納涼会に園児らが訪れるのは初めてのこと。ヨーヨー釣りやスイカ割りのほか、特別に出店されたババヘラアイスを食べながら、一緒に夏を満喫しました。利用者の方は「やっぱり子どもたちが来てくれると賑やかだ。気分も明るくなる」と笑顔を見せていました。



▲「おばあちゃん惜しい！もうちょっと右だよ！」

まちの わだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

消防操法最上支部大会 柳原消防団が見事な統率力を見せる

第41回山形県消防操法最上支部大会が7月28日、最上広域消防本部を会場に開催され、町を代表して第7分団第1部第2班（柳原）が出場しました。柳原は5年連続の出場。出場した管内8消防団が注目の眼差しを向ける中、堅実な操法技術と統率力を披露。昨年から順位を上げ、2位と健闘されました。地域防災の要である町消防団員の皆さん。今後ますますの活躍を期待しています。

▼お隣真室川町産のハチミツも出品。店主との会話も醍醐味



大盛況のめごたまマルシェ 地元産品を中心に売り切れも

認定こども園めごたま園舎を会場に7月27日、3回目となる「めごたまマルシェ」が開催されました。園舎・園庭が開放され、飲食店やワークショップ、アクセサリーの物販など35の個人・団体が出店。特に真夏日となったこの日、カキ氷やドリンクは売り切れ続出。訪れた多くの家族連は、並べられた地元産品などを手に取りながら、各ブースを思い思いに楽しんでいました。